

身体拘束 0 宣言

〈寄り添う心・その人らしく生きることを支援する〉

私たちは、身体拘束が高齢者の尊厳を傷つけ、身体機能の低下をもたらす危険性があることを深く認識し、全ての人々に寄り添いその人らしく生きる事を支援し、より良い医療・ケアを実現するために、身体拘束ゼロに向けて全力で取り組んでいます

1

私たちは身体拘束とは何かを常に考え
拘束をしないケアの実践に努めます

2

私たちは身体拘束を限りなくゼロに近づけるよう努めます

3

私たちは身体拘束を必要としない安全な環境づくりを考え、改善に努めます

4

私たちは看護・介護の技術の向上と研究に努め
全職員の意識向上をはかるよう努めます

5

やむを得ず身体拘束を行う場合は、「緊急性」
「非代替性」「一時性」の要件を徹底して厳守します

亀田森の里病院

院長 亀田奈々
看護部長 吉村由紀

